

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月

事業所名 たけのこ園

保護者等数(児童数) 16名 回収数 13名 割合81%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				部屋の広さが調整できるようになっていて良い。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				常に3人以上の職員が配置されていて良い。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	93%	7%			本人も部屋やトイレなど理解して活動をしている。	設備等に変化が生じた場合は、速やかに周知・説明を行うよう、これからも努めていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	93%	7%			玩具だけでなく、トランポリンやすべり台など体を動かして遊べる空間になっていて良い。	毎日、清掃はもとより、換気や消毒など行っています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%				保護者のニーズに合った計画になっている。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	86%	7%		7%		今後とも、利用される児童の課題をしっかりと受け止め、具体的な支援計画に反映してまいります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				計画当初よりできることが増えたように感じる。	
	⑧	活動プログラムが固定されないよう工夫されているか	93%	7%			体を動かす活動や制作活動など工夫されていると思う。	活動プログラムの質の向上を目指します。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	30%	30%	8%	32%		例年、交流保育を実施しているが、今年度はコロナ禍のために中止した。今後、行事等の周知を図る工夫をしていきます。
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				手続きの際に説明があった。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%				きちんと説明があった。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	54%	23%		23%		家族支援プログラムの内容を明確にし周知していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%				先生方が家庭や幼稚園での様子を気にかけていると感じています。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	93%	7%			分からないことや相談が気軽にできるので良いと思います。	助言等の支援は、随時、専門指導講師や保育士が行っているが、定期的を実施していくことも今後、検討したい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	38%	23%	8%	31%	コロナで集まれないのが現状です。	保護者間の連携の在り方を探っていききたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%				事務手続きの相談なども分かりやすく対応してくれました。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				帳面などで子どもの様子を伝えてくれるので助かります。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	86%	7%		7%		園だよりではお知らせしているが、保護者からの事業所評価に関してはHPのみの掲載に留まっているので、今後、紙ベースでもお知らせします。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	92%			8%		
非常時 等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	69%			31%		訓練は実施しているが、マニュアル等に関しては、保護者に周知・説明は行っていないので、年度初めに説明を行いたい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	78%	15%		7%		避難訓練、救命救急訓練等を定期的に行い、園だよりでお知らせしていますが、さらに周知できるよう工夫をしていきたい。
満足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				・場所や先生方にも慣れ楽しく通所しています。 ・「次いつ行くの?」といつも楽しみにしています。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%				専門の方の助言が聞けて助かっています。	

事業所職員向け 令和2年度 児童発達支援自己評価表

公表:令和 3年 3月

事業所名 たけのこ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		療育スペースは広く、個別指導の部屋は落ち着ける場となっている。 コロナ対策として、分散型を取り入れ三密を防いでいる。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		園児の数や児童の状態によって療育に関わる職員数を調整している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		絵や写真カードを用いて生活空間が分かりやすいように工夫している。 段差はなく利用しやすい構造になっている。	玄関や園庭への出入りは段差があり気をつけて対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		建物は常に清潔に保ち、園児の活動にあわせ療育空間を工夫している。	今年度はコロナ禍ということで喚起や消毒、療育内容にも注意を払っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		QC活動としてPDCAサイクルに沿って業務改善を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケートの実施と公表を行っている。	保護者評価に基づいて事業の改善を図ります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		法人ホームページに掲載している。	ホームページで公開すると共に、自己評価表を保護者に配布します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価はしていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		例年、内部研修(事業所・法人)、外部研修を行っている。	今年度、コロナによって中止された外部研修が多かった。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者からの聞き取りや相談支援員からの聞き取りを行い、子どものニーズを確認しながら作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		入園時には日常生活や児童の行動状況を把握するアセスメントツールを使用。また遠城寺式発達検査やNCプログラムを用いている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		保護者との話し合いの場を設け、適切な選択ができるようにしている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		定期的かつ必要に応じて適宜モニタリング等を行って支援計画に沿った支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		週のリーダーが週案(プログラム)を作成し、回覧して全体の承認を得ている。	活動プログラムの検討会議を今後、定期的実施していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		固定化する傾向があるので、同じ内容にならないように気をつけます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別と集団を分けて計画を作成している。児童に応じて個別支援計画に組み込まれている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝のミーティングを実施し、その日の流れを確認している。	内容的には児童の利用人数や行事等の確認にとどまり、支援内容には及ばないこともあるので改善していきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		夕のミーティングを行う中で、その日の園児の様子を報告し合っている。	園児の様子などを報告しつつ、園児の療育に繋がる取り組みをしています。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		児童記録や日誌、ミーティングノート等をつけ、支援につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別支援会議などを行い、適宜、かつ最低半年に1回はモニタリングを実施している。	
関連機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者又は児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			利用者のニーズや保健師からの依頼等があった時は、連携した支援を行っているが、定期的には行っていない。情報共有を今後も進めていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			現在、医療的ケア児は在籍していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			現在、医療的ケア児は在籍していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者からの依頼があった時には、互いに情報を取り合っているが、今後、各機関との情報共有を積極的に進めていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の依頼があった時は、情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会への参加や見学等を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		交流保育等を行っているが、今年度はコロナ禍のために中止となっている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		矢板市の子ども部会などに参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		職員や専門指導講師がモニタリングの際や個別的関わりを通じて、共通理解を深めるようにしている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者研修会やメンタリング(卒園児の親との懇談会)等を例年、研修行事として実施している。	日頃の支援には家族支援の観点が含まれているが、支援プログラムとまでは意識化されていない状況。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的ではないが職員や専門指導講師によって相談と援助を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会などは組織されていない。又今年度はコロナ禍とあって保護者同士の連携の機会も少なかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		日頃から相談しやすい雰囲気を作る努力をしている。相談や申し入れについては、職員間で迅速な対応を心掛けている。	

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月1回の園だより、年1回の卒業文集を発行、掲載し、ホームページも作成している。	ホームページの更新が間に合わない ので適宜対応していきたい。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		児童に対しては常にコミュニケーションツールを考え実行している。		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		クリスマス会などには隣のデイサービス事業所のお年寄りを招待しているが、今年度はコロナ禍のために中止。		
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		危機管理マニュアルの中に緊急時、防犯、感染症等含まれているが、保護者への周知はされていない。コロナ感染症における事業所の感染防止策などは保護者に周知を図っている。	救命救急講習会、避難訓練等は例年実施しているが、救命救急講習会は今年度は中止となる。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月、避難訓練の実施を行っている。消防も参加する総合避難訓練はコロナ禍の中で中止となった。		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			入園児の段階で聞き取りを実施している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			保護者からアレルギーの確認は行うが医師の指示書は直接もらっていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットのファイルは作成している。	今年度ヒヤリハットに当たる事例はなかった。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内研修に参加している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○			親子通園でもあり、過去も身体拘束の事例はない。